りについても触れるものとする。

(ｲ) 内容の「Ｂ図形」のアの(ｱ)の基本的な図形については，定規，コンパスなどを用いて，図形をかいたり確かめたりする活動を通して，図形に関心をもたせるよう配慮するものとする。コンパスを取り扱う際には，生徒の障害の状態等に配慮するものとする。

(ｳ) 内容の「Ｄデータの活用」のアについては，いろいろな表やグラフに触れるとともに，式やグラフが，事象の変化や全体の傾向をつかむのに便利であることに気付くよう配慮するものとする。

(3) 数学的活動の指導に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　数学的活動は，基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けたり，思考力，判断力，表現力等を高めたり，数学を学ぶことの楽しさを実感したりするために，重要な役割を果たすものであることから，２の内容の「Ａ数と計算」，「Ｂ図形」，「Ｃ測定」，「Ｃ変化と関係」及び「Ｄデータの活用」に示す事項については，数学的活動を通して指導するようにすること。

イ　数学的活動を楽しめるようにするとともに，数学を生活に活用することなどについて実感する機会を設けること。

〔理　科〕

１　目　標

自然に親しみ，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって，観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り，観察，実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。

(2) 観察，実験などを行い，疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。

(3) 自然を愛する心情を養うとともに，学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。

２　各段階の目標及び内容

○１段階

(1) 目　標

Ａ　生命

ア　身の回りの生物の様子について気付き，観察，実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。

イ　身の回りの生物の様子から，主に差異点や共通点に気付き，疑問をもつ力を養う。

ウ　身の回りの生物の様子について進んで調べ，生物を愛護する態度や，学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。

Ｂ　地球・自然

ア　太陽と地面の様子について気付き，観察，実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。

イ　太陽と地面の様子から，主に差異点や共通点に気付き，疑問をもつ力を養う。

ウ　太陽と地面の様子について進んで調べ，学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。

Ｃ　物質・エネルギー

ア　物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路について気付き，観察，実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。

イ　物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路から，主に差異点や共通点に気付き，疑問をもつ力を養う。

ウ　物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路について進んで調べ，学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。

(2) 内　容

Ａ　生命

ア　身の回りの生物

身の回りの生物について，探したり育てたりする中で，生物の姿に着目して，それらを比較しながら調べる活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のことを理解するとともに，観察，実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。

㋐　生物は，色，形，大きさなど，姿に違いがあること。